

部 会 議 事 録 (まち協全体会資料)

部 会 名	片瀬・江の島まちづくり協議会 全体会
会 議 名	令和５年度 第２回片瀬・江の島まちづくり協議会
開 催 日 時	２０２３年（令和５年）５月２６日（金） 午後３時３０分から午後５時１０分
開 催 場 所	片瀬市民センター ホール
出 席 者	委 員：１６人（総数２１人） 出席者：畠山会長、甘粕副会長、澁谷副会長、徳江委員、 甘粕（勇）委員、飯森委員、阪井委員、藤原委員、 渡辺委員、小原委員、近藤委員、山口委員、岡田委員、 福島委員、桐生委員、塚田氏（三觜副会長代理） 事務局：４人 森井主幹、関口、下間、國松、
報 告	３ 報告（資料１） （１）前回全体会について 議事録の確認 （２）各部会からの報告 ア 人材・情報バンクセンター運営委員会 議事録の内容は前回の全体会において報告済み。４月から新たなコーディネーターとして活動している鈴木氏、江原氏の紹介、自己紹介を行った。現在は２人のコーディネーターで活動していることを報告。 イ 郷土文化推進部会 民俗文化財継承事業の片瀬こまの大会が４月３０日に開催され、７０人位が参加した。８月に大会を開催する予定。また、江の島道整備事業として、旧江の島道を歩き点検を行った。修繕等必要なものはあるが、今年度は予算がないことから、対応していきたい。今年度は、公民館とのコラボ事業を検討していきたい。 ウ 青少年健全育成事業 ６月８日（木）に部会を開催する予定。 エ ボランティアセンター運営委員会 ４月から、「ひだまり片瀬」を月水金の午前１０時から午後３時、「にこにこひろば」を木曜日の正午まで開催。詳細は、４月２０日の地域回覧チラシで４月から、「ひだまり片瀬」を月水金の午前１０時から午後３時、「にこにこひろば」を木曜日の正午まで開催。詳細は、４月２０日の地域回覧ちらしで確認して欲しい。また、ボランティアセンター内での飲食も可能となった。

報 告	エ 広報ワーキンググループ 5月16日(火)に部会を開催し、継続して片瀬地区ポータルサイトの更新作業を行っている。長期間更新されていない情報はいったんポータルサイト上から閲覧できない状況にし、更新されている部分をもっと見やすくなるように、レイアウトを変更し、新着情報が一番上から順番に表示されるようにする。また、イベントカレンダーも、サイトの管理が明確になるまでは表示しないようにする。ホームページの更新など湘南大庭地区などの先進事例を参考にしていきたい。なお、片瀬歴史マップに掲載されている内容について、ポータルサイトでも紹介をしていきたい。 (3) 各地域団体からの報告 ア 生活環境協議会 5月28日(日)に市主催のごみゼロクリーンキャンペーンが開催。5月25日(木)には落書き消しを行った。もし、落書きを見つけた場合は、事務局までお知らせいただきたい。 イ 片瀬一市民スポーツの会(阪井委員) 5月27日(土)ソフトボール大会を開催。自由参加となるので、ぜひ参加していただきたい。また、6月11日(日)スポーツフェスティバルを開催し、グラウンドでグラウンドゴルフ、体育館でボッチャ、ストラックアウト、ラダーゲッターを実施する。 ウ 民生委員児童委員協議会 6月に高齢者の現況調査を実施するので、協力をお願いしたい。[甘粕副会長] 防災の観点から、要支援者の支援は何かあるのか、自治町内会は特にマンション等に住んでいる方とのコンタクトがとりづらい。訪問の結果等情報共有をお願いしたい。 エ 青少年育成協力会 7月20日に小学6年生対象のデイキャンプを実施する。今年度は、体育館、特別教室を使用したお楽しみトレジャーとして開催する。 オ 江の島振興連絡協議会 江の島島内のチャドクガの駆除を行った。また、春の植栽を100人規模で開催する予定。 カ 地区社会福祉協議会 6月1日(木)午後2時から「癒しコンサート」を開催。 9月には83歳以上の方を対象に敬老会を開催する予定。民生委員の協力を得て、6月の現況調査時にチラシを配布する。
議 題	4 議題 (1) 令和5年度の活動について(資料2)
	[意見] (1) 大学生の中では、まちづくりを対象とした学科もあることから

議題での検討事項・意見	大 学生の方と一緒にできればよい。また、小さなお子さんをお持ちの夫婦をターゲットにアプローチすることが必要。子どもを中心にコミュニティもある。 若い世代を一概に年代だけでくくることはできない。 (2) 片瀬地区にも若い世代が入ってきており、SNSで横のつながりもある。にこにこ広場にもよく来てくれている。そのコミュニティに地域に対して関心を持ってもらい、情報発信してもらえる仕掛けができればよい。 (3) 地域で行う事業等を企画から募集をしてみればよいのでは。また、まちづくり協議会でやることはわからないが若者は楽しいことなどに興味を持つと思う。 (4) 過疎化が進んでいる市町村では、行政が中心となり若者を集める事業等を実施している。他市町村の好事例などを分析し、若者を呼び込むのも良いのではないか。 (5) 遊びの内容が今と昔では違う。昔はゲームがコマやめんこ等しかなく、みんな外に出ていた。東リ町アートフェス等、子ども達が地域に出て遊ぶことができる地域のイベント等があれば若者も集まるのではないか。
議題での検討事項・意見	(6) 昨年度末で辞任した委員が片瀬地区の住民が繋がりを持つための事業などを提案したが、まちづくり協議会として受け入れる柔軟性が足りなかったのではないかと感じている。地域活性化のためにやれることをもっと行うべきだったのではないか。 (7) 地域活性化はそう簡単にはいかない。お祭りなど、子どもの頃から地域の活動にかかわることで、地域に賑わいが生まれる。 (8) 小さい単位でコミュニティを築くことが大切である。課題があればみんなで考えることができる。 若い世代というが捉え方によって年代が様々である。特定しないほうが良い。 (9) 片瀬地区で大勢が集まる事業は、お祭り、地区レクリエーション大会、ふれあいまつりがある。大勢が集まる事業を契機にまちづくりを行うことが必要。 (10) 地区レクやふれあいまつりなどを契機に若い世代が集まるチャンスであるので、各事業を契機に地域の活動に興味を持ってもらいたい。 (11) 小学生の集団登校等も子どものコミュニティ形成にも役に立つと思う。子ども達が集まるイベントなどの事業を展開することも必要。また、大学のボランティアサークル等と協力した共同事業を行うことも良いのでは。 クリーンキャンペーンなどにも多くの若者がいる。片瀬単独ではなくもっと広い範囲で呼び込む必要がある。 (12) 今はあいさつが少ない。自宅前を通りかかった人にあいさつをした人が、何回か会ううちに、あいさつをしてくれるようになった。地域の繋がりを作るためには、基本となるあいさつをすることが大事である。小さなコミュニケーションの繋がりが必要で

	ある。 (13) 各自治町内会で開催される様々なイベントをもっと宣伝し、たくさんの人に来てもらえれば良い。コロナの影響により長期間町内会の事業ができなかったが、子ども達も楽しみにしている。昨年のふれあいまつりでは、防犯協会と交通安全対策協議会が協力してダーツゲームを行ったが、子ども達がたくさん来た。子ども達が集まると、そこに親もついてきて、一つのコミュニケーションを作ることができる。また、定期的を開催することも必要である。 (14) 市の人口は統計上では増えているが、片瀬地区は逆に減っている。片瀬地区の魅力は江の島を中心とした人を呼び込む力である。 (15) 地区集会に若い人を集めることが目標ではなく、若い人が参加したくなる地域づくりを進めることが必要であり、子育て世代に今後の地域を考えてもらいたい。街ところが好きだとかまあそんな話が聞けると何をするが見えてくるのかなとかもちよっと思ったりしています。新しく片瀬に来た方や子育て世代にいろいろ聞いてみたい。若い人が集まる場として地区レクリエーション大会やふれあいまつりであり、声が聞ける場をセッティングができればよい。 (16) 片瀬を近代的なまちにしていくのか、生活に不便はないが、レトロなまちにしていくかなどの意見を聞いてみても良い。 (17) 竜の口町内会で一番人が集まる地域のイベントは盆踊り。 (17) 江の島では、大学生から50歳台位までの人を集めたワークショップを開催する予定。 (18) 目標を小さくせず、多角的な視点からいろいろな世代を対象に、今までのいいところの継承と、今の時代の人たちの新しい考え方がセットになるようにしていく必要がある。 (19) 次回は、いつどこで何をするかを具体的に決めていきたい。
次回までの 確認事項	6月の全体会では、具体的な活動内容を決定する。
次回会議 開催日時・場所	全体会 日時 2023年6月15日（木）午後6時30分から 場所 片瀬市民センター ホール